

## 伝統を次の世代へ・山道弥生画

12月25日（土）、山道老人憩いの家で、弥生画を制作中である山道弥生画保存会（小野寺秀昭会長）の皆さんと地区の子どもたちへ中野町長が激励に訪れ、貼付け作業を手伝いました。

山道弥生画保存会の弥生画制作は、12月初旬から始められ、今年の弥生画は「かぐや姫」を題材とした作品で、平和と五穀豊穡への願いが込められています。山道地区の弥生画は自然の穀物の色以外は一切使わない400年の伝統を受け継ぐ作品です。

また、子どもたちの弥生画は、冬休みが始まった12月23日（木）から始まり、今年は干支のうさぎのキャラクターをモチーフにした作品で、とてもかわいい弥生画です。

制作する子どもたちは、小野寺会長や地区の方々から穀物の貼り方を教わりながら、根気のいる細かい作業を集中して行っていました。

2つの弥生画は、12月30日（木）山道の神社に奉納され、神社入り口の鳥居に掛けられています。



△今年の弥生画「かぐや姫」

①町長と一緒に保存会の弥生画の制作を手伝う ②難しい部分の貼り方を教える小野寺会長 ③均等に穀物を貼っていく作業 ④輪郭は豆を一粒ずつ貼付けていく ⑤地区の子どもが集まって行う作業はとても微笑ましい



12/18 宮浦川小学校であやめ奉仕団の皆さんに感謝状が贈られる

12/20 花の歳時絵コンクールでワールドメダルが中村ミネさんに贈られる

12/21 ジュニアリーダーズクラブ「HIJURU」全国表彰報告会



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

## はやぶさの弥生画

12月20日（月）、鶴田八幡宮神楽殿において、制作中である元町弥生会（大船晃嗣会長）の弥生画が公開され、激励に訪れた中野町長が貼付け作業を行いました。

今年の弥生画は、「はやぶさ元年」という題名で、恵比寿様と3月5日から登場する新幹線「はやぶさ」が絵に採り入れられ、五穀豊穡への願いと新幹線に乗ってたくさんの福が訪れることを願い制作されています。



△中野町長の貼付けは上級者の腕前です



△新幹線「はやぶさ」が描かれた今年の弥生画



△細かい作業に集中する会員の皆さん

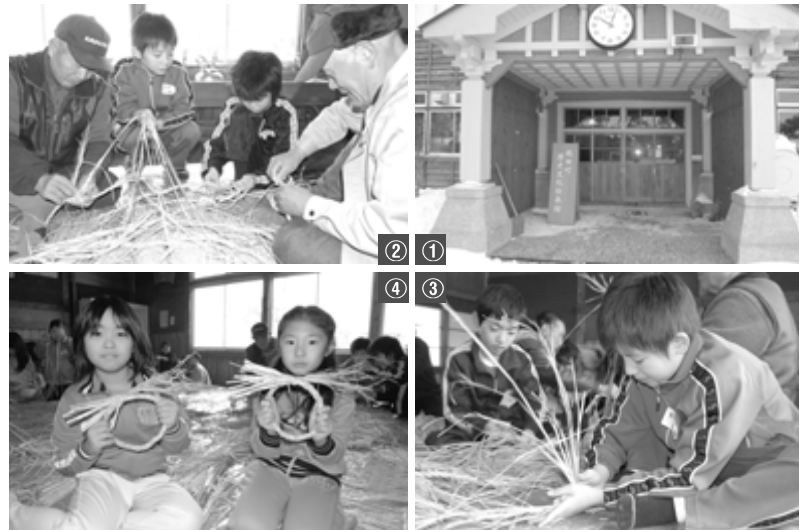
## 歴史文化伝承館でわら細工教室

12月27日（月）、鶴田町歴史文化伝承館（旧水元小学校）で、鶴田町田んぼの学校主催「わら細工教室」が開かれ、水元サンシャインスクールに通う1年生から6年生までの児童22人が、初めてわら細工作りに挑戦しました。

今回、伝承館が完成して初めてのわら細工教室となり、館内に設置されたわら細工加工室では、水元地区や近隣の地区から集まったお年寄りの方々が講師を務め、基本のわら縄のなえ方を児童に教えていました。

参加した工藤陸くん（水元中央小4年生）は、「最初はなかなか上手くできなかったけど、おじさんから教えてもらったら少し上手にできました。また今度やってみたいです。」と感想を述べていました。

伝承館を管理する小笠原教育長は、「今後、このような昔の文化を学ぶ教室が盛んに行われるよう普及に努めてきたい」と述べていました。



①歴史文化伝承館 ②地元の方からわら縄のなえ方を教わる  
③基本のわら縄づくりに挑戦 ④完成したミニしめ縄

## わらじを富士見小学校獅子舞へ贈る

12月15日（水）、富士見小学校獅子舞に使ってほしいと、前中野幸せの種まき会（長内精悦会長）の皆さんが制作したわらじ20足が同学校に贈られました。

わらじは、前中野幸せの種まき会の皆さんが地区の伝統芸能を守る富士見小学校獅子舞を応援したいと、わらじ制作を会員に呼び掛け、獅子舞を指導する長内英五郎さん（前中野）がわらじ作りを指導して、同地区の文化センターに集まり制作されたました。贈られたわらじは、子どもの足に合うようにと少し小さめにつくられ、また激しい動きにも耐えられるようとても丈夫に作られています。



△学校に贈られたわらじ



△文化センターに集まりわらじ作りに精をだす皆さん